

第 8 回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】 平成 23 年 3 月 1 日（火） 午後 6：00～午後 7 時 30 分

【場 所】 役場（大会議室）

【出席者】 委員～12 名（欠席 3 名） 町～12 名

委 員	中野忠雄	○	遠藤共子	○	廣部健二	○	須崎正寿	○	山口俊哉	○
	鈴木孝一	×	岡本克也	○	伊藤由紀子	○	山 節子	○	横尾良昭	○
	稲垣直樹	×	森本由利江	○	佐々木勝幸	○	明石伸子	×	岩口直樹	○
町	北町長、三本副町長、村上教育長、岩口おもいやり課長、小澤健康ふれあい課長 鈴木教育次長 事務局：碓井課長、石川主幹、相澤係長、遠藤主事、都築主事、高橋主事									

1. 開会 碓井課長

2. 委嘱書の交付 北町長から、伊藤由紀子委員に交付

3. 中野委員長 あいさつ

3 月に入って除雪が進んでいるようです。このまま順調に雪が融けていってほしいと思います。2 月に NHK の北海道番組で気象予報士をされている方の講演がありました。「今年は暑い夏が来るでしょう」と予報されました。私も農業をやっているものですから、安心しました。

今日は、奈井江町の平成 23 年度予算の概要が出たということで、その説明を受け、その後、議題となっております、子育て支援策について皆さんの意見をお伺いしたいと思いますので、ご協力お願いいたします。

4. 町政運営等に関する主な動向について（北町長より）

まず始めに衆議院 予算委員会の地方公聴会の話をしたいと思います。

地方公聴会が北海道と福井県で開催される運びになり、2 月 14 日、札幌を会場とした公聴会に衆議院 議員 15 名が来道され、北海道からは、高橋はるみ知事、上田・札幌市長、北海道 農業協同組合 中央会の飛田会長、そして、私の 4 名が意見陳述人として招聘されました。

冒頭、私の方から、地方交付税の総額確保や来年度以降、順次、導入される地方の自由度を拡大して使うことのできる一括交付金の制度設計について、現場に合った政策展開ができるようにすること、また医師や看護師が不足している地域医療の現状、TPP への懸念といった課題を中心に、私から申し上げました。その後、順に質疑を行い、子ども手当を始めとする子育て支援策や除雪の状況、広域行政など、奈井江町の現状はもちろん、空知や北海道の視点をもって、今の市町村の厳しい状況について、委員の皆さんにお伝えをしてきました。

次に、昨年の 11 月末の国の補正予算における経済対策について話したいと思います。

地域活性化経済対策交付金ということで、奈井江町においては、約 65 百万円の内示をいただき、総額 81 百万円の補正予算を来週から始まる町議会に提案したところです。

事業の選択にあたっては、「この交付金事業が、地域経済の浮揚策であること」を踏まえ、いかに地域振興に繋げていくかを基本理念として、緊急性の高い事業の選択について考慮するとともに商工会や農業 関係団体、学校等からも意見、要望を聞きながら、受益が広範囲にわたり、可能な限り町内企業の受注が見込めるよう配慮しました。

主な事業としては、町内建設業者を利用した住宅リフォーム事業、土壌分析装置の購入、学校などの図書購入や特別支援 教育 支援員の雇用などです。

最後に委員会の皆さんも関心の高い、ミート・ウィズについて若干、触れたいと思います。

かねてから農業、商業の担い手の育成が、町の大きな課題と捉え、本人主体の問題ではありますが、農協や商工会の役員の皆さんとともに結婚活動の環境づくりを支援しております。現在、登録者が 10 数名ほどおりますが、明後日 3 日の夜に、「婚活セミナー」を開催いたします。来年度に予定している、婚活パーティに向けてのコミュニケーションを中心とした勉強会を実施いたします。

本日は、子育て支援策についての一応の最終回ということで、前回に引き続き、教育長以下、担当課長にも出席をさせ、町の対応策について報告をさせますので、よろしくお願いします。

(中野委員長) ここで一旦、中断して、皆さんからの質疑を受けたいと思います。

(質疑なし)

(中野委員長) それでは、引き続き、町長に新年度予算の説明をしてもらいます。

(北町長より説明)

一般会計の総額は 44 億 3,300 万円で、前年度比 1 億 1,700 万円、2.6%の減となっております。

一般会計が減少となった主な理由は、子ども手当の支給など社会保障費の増加があるものの米穀貯蔵用低温倉庫の建設完了(2 億 9,800 万円)によるものでありますが、今年は安心安全の 3 本柱を念頭において予算編成に努めたところです。

まず私の方から、政策的に行うこの安心安全の 3 本柱について話をしたいと思います。

1 つめの柱は、子育て支援です。

従来の乳幼児等医療給付事業の名称を、子ども医療費助成事業に変更し、給付の対象を中学生の通院 医療費まで拡大します。このほか、ヒブワクチンや小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンの予防接種の 公費 全額助成を行います。

2 つ目の柱は、定住対策です。

人口減少対策や地域の活性化のため、町有地を活用した助成を継続するほか、子育て世帯から高齢者世帯まで、さらには立地企業の従業員の方にも町内に住んでいただけるよう、アパートや従業員宿舍の建設に対する助成制度を充実させます。

高齢化の進行に伴う生活不安の解消に向けて、行政の施策、民間事業者のサービス、地域のコミュニティを有機的に結びつけながら、町民全体が連携できるような、ともに支え合う「高齢者支援ネットワーク」の実現に向けて、“歩きながら”と申しますか、町民と関係機関との連携について、必要なものは随時、追加しながら、考えて参りたいと思います。

以上が、新年度予算に盛り込んだ、安心安全の3本柱であります。

・質疑応答

(委員) 国民健康保険事業を見ると23年度と22年度と比較した場合、かなり減額になっています。理由があれば教えて下さい。

(碓井課長) 国保の加入者が減ってきています。全体の保険税の規模も下がりますし、医療費の規模も下がります。特別な制度改正があったわけではなく、医療費の動向と加入者の減少があって、このような数字になったわけです。

(委員) ライスターミナルの職員が一生懸命、雪を倉庫に入れているので、道路排雪の雪を入れたらいいのにと思いました。

(三本副町長) できればいいのですが、道路の雪にはゴミがたくさん入っており、施設の汚染に繋がってしまいますので、倉庫周辺のきれいな雪を入れています。

(委員) 学校関係の事です。住民生活に光をそそぐ地域活性化事業実施計画で、特別支援教育とありますが、来年度は1人追加になるということですか？

(鈴木次長) はい、その通りです。1名増員し、2名体制にします。

(町民委員) 来年度のみですか。

(鈴木次長) 今のところ来年度のみで、その後は検討して参りたいと思っています。

(委員) 若い世代の人たちに奈井江に住んでほしいという気持ちがあるのなら、“奈井江町には、特色のある教育がある”というPRしたらいいのではないですか。若い人たちにとって、教育は敏感なところだと思います。奈井江商業の支援で交通費の補助と書かれていますが、親にとってはありがたいことだけど、子どもにとって…という違う方向もあるような気がします。奈井江の高校に来て、“こういうことをやりたい”だとか“この高校で勉強したい”というようなことを子どもにPRできませんか？

(鈴木次長) 魅力ある学校づくりについては当然、今お話しいただいた意見を踏まえて今後、示していかなければいけないと思っています。教育ビジョン策定助言者会議の答申のまとめが今月ありますので、その答申を踏まえて魅力ある学校づくりになるように計画を立てて行きたいと思っております。

高校の通学費の関係は、何が生徒確保のためになるだろうかと我々も検討し、学校側のニーズを聞いてみました。すると今の厳しい経済状況では、通学費がかなりかかっているということで、通学費の補助を予算にいれました。今後も検証しながら、生徒確保に繋がるかを考え、良いアイデアがあれば対応していきたいです。

それと商業高校ということですので資格の取得をしてもらう。高校とタイアップし多くの資格を取得してもらう。そういう政策も入っています。子どもと親の経済負担を考えていくということでご理解ください。

(碓井課長) PR するという貴重なご意見をいただきました。B4 版カラー印刷で必要事項を記載し、全戸に配布したり、近隣の自治体に配布しています。空きスペースを活用しながら考えてみたいと思いますし、企業にも “こういう制度があります” とお伺いしようと思っています。

(委員) 歳出の議会費や総務費が今年度と比べると金額の差が大きいのはなぜですか。

(碓井課長) 議会費に関しては、全国的な話題なのですが、議員年金制度が廃止になるということで、一時金など来年度以降の受け取りの制度が変わってきます。これにより年金の負担金が一時的に来年度は増えるということで、市町村の負担を求められたものですから、来年度はその経費が増えてきます。総務費では、実際にスグ使うというお金ではなく将来、計画的に行う事業を想定して基金の方に貯金する積立金という歳出が、数千万単位で総務費の中に組み込まれています。将来の事業に備えた貯金などの部分が、去年と比較して非常に大きくなりました、という内容がここに現れています。

(北町長) 市町村の負担分は、国が責任を持ちますよと言っています。

(副町長) 6 月に国会で通ればですが、議員年金制度がなくなる予定で今、進んでいます。年金をもらっている議員 OB の方たちは、今までどおり貰うか、一時金として貰うかを選択できるようになっています。制度を廃止しますから今、貰っている人や現役の議員さんで支給を受ける権利がある人たちに係る負担は毎年毎年、計算し市町村が共済会に支出しますが、それを国が地方交付税のなかで補填するシステムとしています。

それと総務費の基金のことですが、例えば、砂川との病病連携ということでシステムを組もうとしていまして、過疎債の中でソフト事業も認められることになり 5 千万円ずつ毎年 5 年間積み立てていこうというようなことが、この積み立て基金の中に入っていて、それが大きいのです。

(委員) 町道西 2 線のアスファルトが、町外の大型トラックがすごく往来するので、傷みが激しいです。遠慮してもらうことが出来るんでしょうか？

(北町長) 「重量制限がこれだけある」と取り締まって貰えばできるかもしれませんが、町では難しいです。

(副町長) 橋だと壊れる可能性があるので重量制限をしますが、通常の道路で、「路盤が傷みますから通らないでください」とは言えないです。

5.議題

(1) 子育て支援策について

「まちづくり町民委員会からの質問と意見に対する回答」

資料 5 (前回までの町民委員会で意見交換した内容を現時点での最新情報などに校正して事前配布) にて、岩口・おもいやり課長、小澤・健康ふれあい課長、鈴木次長より説明

・説明後の質疑応答

(委員) 以前に通学路で変質者が出て、教育委員会の方で “見守り隊” という組織を作り、私も初回に参加しました。今でも組織はあるのですか？

(鈴木次長) 今でもありまして、登下校の際に子どもたちを見ていただいています。

(委員) 一時、民間でも見守り隊のステッカーを自動車に貼っていましたが最近、着けている車はほとんど見当たりませんが、役場も車に付けて PR してはどうでしょうか？

もうひとつ、何年か前に東町の 15 号の地下に痴漢の話がありました。防犯カメラが設置されてから逮捕され解決し、痴漢騒動がなくなったわけです。14 号の地下道は冬季間閉鎖していますが、そこにも防犯カメラをつけてはどうですか？

(鈴木次長) ステッカーの件ですが、在庫を確認しながら、いいアイデアであれば対策をとりたいと思います。

(岩口課長) 防犯カメラを 15 号と文化ホールの前に付けました。それからは、不審者情報が治まっています。14 号のアンダーパスは影になるところがあるので、状況を見ながら検討して参りたいと思います。

(委員) 子宮頸がんの予防ワクチンですけど、補助がなければいくらぐらいかかるのですか？

(小澤課長) 市町村によって違うのですが、奈井江町の場合は 1 回 14,700 円で、それを 3 回接種します。

(委員) 接種する年齢は、若いうちにするのですか？

(小澤課長) そうですね、国では小学校 5 年生くらいから 20 歳までを対象者ということにしています。その年齢以降の方は、子宮頸がんの検診を受診していただいています。

(副町長) 補足をすると “その年齢でなければ…” というのではなくて、性交によって感染しやすいということが前提にありますから、効果的という観点から、そのことがない段階で接種するのが一番望ましいということで、国の基準が設けられているようです。他の町では、短いところもあれば広げているところもありますが、期間が短い方が接種への意識づけが高くなるのではないかと思います、中学 1 年～中学 3 年と決定をさせていただきました。

(委員) 2 月に説明会を開いたと書いてありますが、どれくらいの方が参加されたのですか？

(小澤課長) 2 月 1 日の参加者は 4 名です。4 月か 5 月に専門の講師を招き、子宮頸がんワクチンの効果を含めた説明会を開催したいと思っています。

(2) その他 特になし

6. 閉会

(碓井課長) 今日は、たいへん資料が多くて、私の方からの説明が多かったのですが、去年からご義論いただきました子育て支援策については今回を以て閉めさせていただきます。

なお、何かございましたら、その都度、私でも結構ですし、所管でも結構ですのでお聞きください。